

令和7年度 小規模校連携フォーラム

和気町立和気中学校



和気町立佐伯中学校



I. 2校の概要と課題

和気町立和気中学校

- ・生徒数 226名
- ・各学年 2学級
　　| 学級の生徒数 35～40名
- ・1学級の生徒数が多く、個々の生徒への指導が困難

和気町立佐伯中学校

- ・生徒数 38名
- ・各学年 1学級
　　| 学級の生徒数 10～16名
- ・教科指導に関する協議ができない。新卒の講師 3名

2. ねらい

①町内2中学校の連携に向けた体制づくりを行う。

②組織的、協働的な教科研究、授業力向上に向けた取組により、学力向上を図る。

3. 実践内容

(I) 合同教科会

合同教科会コーディネーター

- ・毎週木曜日、兼務校に勤務
1年の数学科を中心にT2
として授業に参加
- ・数学科の合同教科会を実施



3. 実践内容

(2)授業で交流

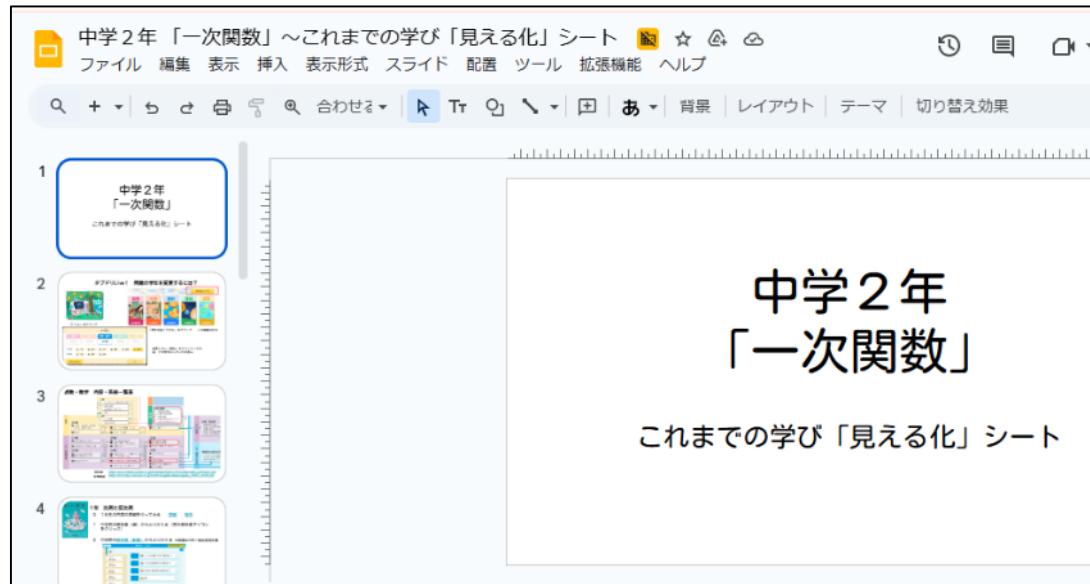
- ・佐伯中の新卒の講師が和気中へ参観、情報交換
- ・和気中の数学科担当教員が佐伯中へ参観、教科会
- ・合同教科会のコーディネーターが和気中の理科の授業にT2として参加
授業後に指導法の検討、情報交換



3. 実践内容

(3) Googleクラスルームを活用した教材の共有

- ・町教育委員会の協力で、小学校の内容までさかのぼって復習できる関数教材を作成
- ・効果のあった教材をクラスルームで共有

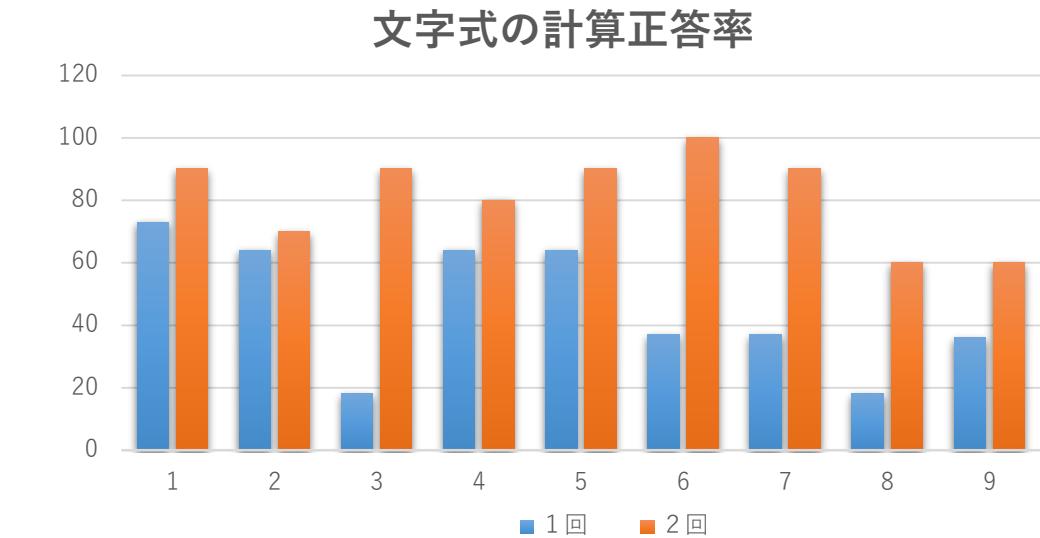
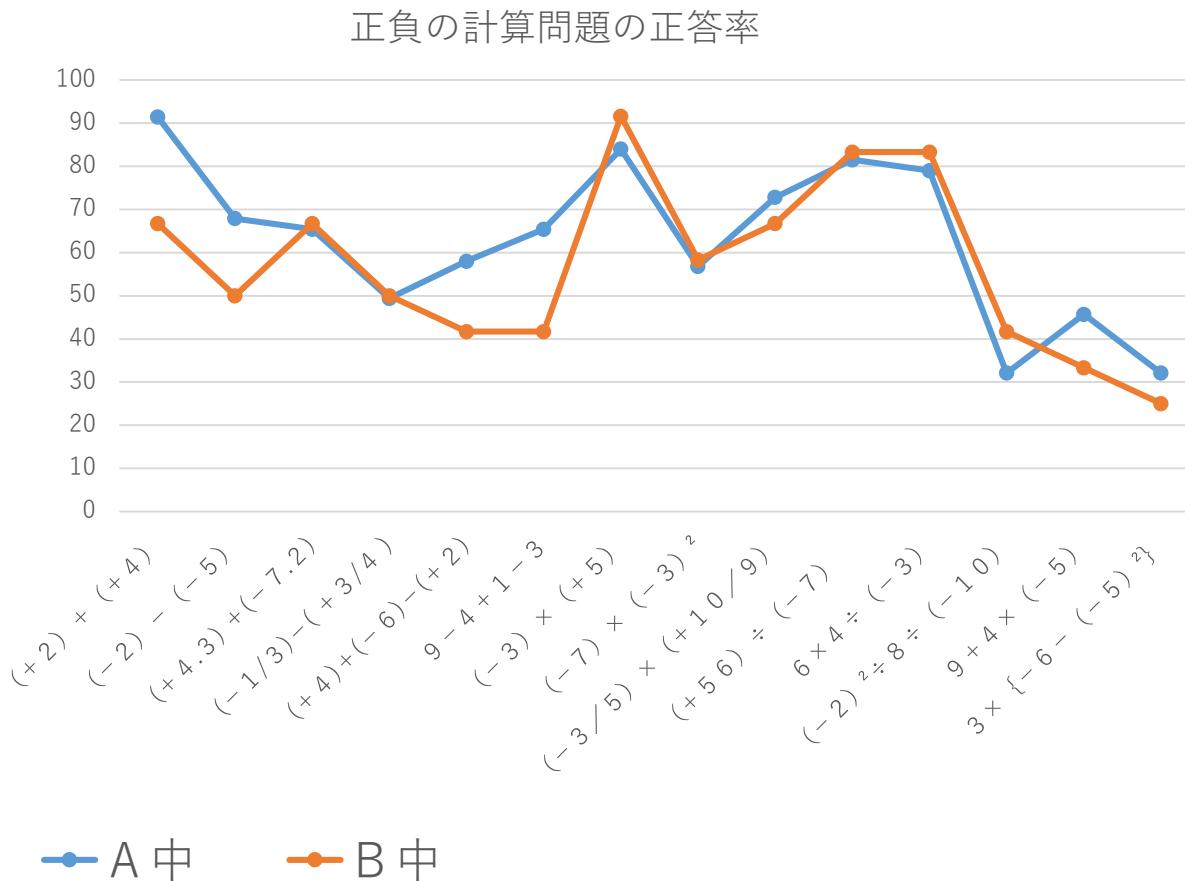


4. 成果と課題

- 生徒の実態に応じた授業改善につながった。
少人数指導、グループ学習、やる気につながるワークシートの工夫



- 定期考査で共通問題を出題し、つまずきを分析。指導方法の改善につながった。



正答率が大きく向上した問題

- ③ $8x - (2x + 3)$ ⑥ $-4(-3a + 2)$

4. 成果と課題

- ・新卒の教員にとって有効な研修の機会となり、連携が進んだ。



4. 成果と課題

- ・2校の規模が大きく異なり、共通の解決策を見出しづらい。
- ・年間計画に位置付けなければ、連携のための時間の確保が困難である。